

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

570-321

事務事業名	合併浄化槽設置特別補助事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	下水道課		包含する細々目	12	2	2	1	10	1	
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	下水道	環境調整会議	不要	事業期間		9	年度～	25	年度	関連計画 条列等
浄化槽法・飯田市下水道整備基本計画・飯田市合併浄化槽設置整備事業補助金交付要綱												

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	集合処理区域内において地形的事情により接続ができない市民及び事業所を対象とします。	特別補助対象戸数(戸)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			46	74		
		特別補助の対象人口(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			138	222		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
市民皆水洗化により、水環境の改善と市民生活の快適性の向上を図ります。	集合処理区域内における設置率 = 設置累計基数 / 計画基数 (基)	18目標	53	最終目標	100	
		18実績	55	19目標	62	↑
		23目標	89	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市下水道整備基本計画に基づく集合処理区域内(公共、特環、農集)にありながら、地形的事情により下水に排水できない家庭(事業所)に対し、合併処理浄化槽の設置を促進するため、市の単独費で設置者に補助金を交付する事業です。 補助金額 5人槽 450,000円 7人槽 600,000円 10人槽 700,000円	合併浄化槽設置特別補助を5基します。	設置基数	7基
	18年度の実績			
	19年度計画	合併処理浄化槽設置に対し各年度補助を5基します。	設置基数	基

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	5,350	2,850
	事業費計(A)	5,350	2,850
人件費	正規職員所要時間	18年度 48	19年度 48
	臨時職員等所要時間	48	48
	人件費計(B)	223	223
	トータルコストA+B	5,573	3,073

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	水洗化率(4手法全体)(%)	現状値	78.7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	三穂弟川・伊賀良茂都計川の水質(BOD値) mg/lのうちのどれか高い方		現状値	1.5	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・皆水洗化計画の中で集合処理区域内にありながら、地形的事情から下水に接続できない市民に合併処理浄化槽による水洗化を行うためです。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・平成12年度に10件の制度利用があったから、いったんは減少したが徐々に増加し、平成18年度は7件の利用がありました。 今後下水道本管工事が処理区域の周辺部へと移っていくことにより、接続ができないところが微増していくと予測されます。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・公共下水道などへの低地からの接続は将来の維持管理などの面で経済的に負担がかかるため、市民は基本的には自然流下で集合処理に汚水を排除できる水洗化を望んでいます。</p>
---	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>水洗化が促進されることにより、市民の快適な生活環境の確保と、公共水域の水質の改善がなされます。</p>	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>市民への啓発活動・水洗化推進活動により向上の余地があります。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由)</p> <p>土地利用基本計画や処理方法が変わったとき見直しがかかります。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>補助が打ち切られることにより、経済的理由から設置できない世帯ができ、雑排水が河川を汚染することになります。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由)</p> <p>皆水洗化に向け必要な制度であるが、できる限り集合処理での接続を検討していく必要があります。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>統合可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>集合処理事業が完了してきた段階では接続できるような方法について検討します。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>市の基本計画で掲げている皆水洗化の一環の事業であり、市が推進していく必要があります。</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>定額補助をする中でやっており不可能。現状でも人件費はほとんどかかっておりません。</p>
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>設置費に対して受益者の応分の負担を求めており妥当です。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> 具体化</p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>・更に普及促進を推進する必要があります。 ・個人マンホールポンプの補助額を再検討した上で基本的には集合処理接続を優先すべきであると考えています。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>・公共下水道事業が周辺部となってくるに従い、区域内でありながら、地形的事情から市の布設工事の経済比較により、浄化槽を選択しなければならないケースが増えています。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	